



修二だより

令和5年度
前期学校評価号

令和5年10月
京都市立修学院第二小学校
校長 中村 理恵

前期 学校評価アンケートの集計結果をお知らせします

「前期学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。学校評価は、学校家庭が相互に高め合うことを目的とし、よりよい学校づくりのため行っています。「児童へのアンケート」と「保護者へのアンケート」の結果をまとめて報告いたします。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

学校教育目標

『自ら考え行動し、仲間とともに伸びる



たくましい 修二の子ども』

し	自主自律
ゆ	友情をはぐくみ
う	美しい心で
に	虹をかけよう



◆児童アンケート◆		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
【思考・判断力】					
1	授業がわかる。	58%	33%	6%	2%
2	自分のめあてをもち、自分なりの考えを学習して持っている。	43%	44%	10%	3%
【つたえあう力】					
3	先生やともだちの話をよく聞いている。	53%	40%	6%	1%
4	思ったことや考えたことを先生や友達に伝えている。	41%	37%	17%	5%
【情報活用力】					
5	すすんで読書をしている。	52%	24%	14%	10%
6	情報をあつめてまとめたり、発表したりしている。	32%	34%	25%	9%
7	GIGA端末を積極的に使っている。	34%	40%	21%	5%
【主体性】					
8	自分のめあてを決めて、続けて取り組んでいる。	38%	42%	16%	4%
9	失敗をおそれず挑戦している。	43%	36%	15%	6%
10	クラスの仕事を自分からすすんでしている	41%	41%	13%	6%
【その他健康や安全、家での生活に関すること】					
11	家庭学習をすすんでやっている。	44%	38%	14%	4%
12	きまりや約束を守っている。	49%	41%	7%	2%
13	早寝早起きをして睡眠時間をしっかりとっている。	43%	34%	13%	10%
14	毎日朝ごはんを食べている。	85%	8%	5%	2%
15	外遊びなどをして体をよく動かしている。	63%	22%	8%	7%
16	安全に気を付けて行動している。	63%	32%	4%	1%
17	交通ルールを守っている。	65%	32%	2%	0%
18	学校からのおたより等をおうちの人に渡している。	60%	29%	7%	4%
19	困ったことがあったときなどに先生に質問や相談をしている。	43%	31%	19%	7%
20	おうちの人と学校の出来事を話している。	57%	23%	12%	7%

◆保護者アンケート◆					
		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
	【思考・判断力】				
1	授業がわかる。	40%	54%	6%	1%
2	自分のめあてをもち、自分なりの考えを持っている。	25%	51%	22%	2%
	【つたえあう力】				
3	先生や友だちの話をよく聞いている	35%	53%	12%	1%
4	思ったことや考えたことを先生や友達に伝えている	20%	56%	23%	2%
	【情報活用力】				
5	すすんで読書をしている。	21%	35%	34%	11%
6	情報をあつめてまとめたり、発表したりしている。	12%	49%	34%	6%
7	GIGA端末を積極的に使っている。	17%	41%	37%	6%
	【主体性】				
8	自分のめあてを決めて、続けて取り組んでいる。	18%	44%	38%	2%
9	失敗をおそれず挑戦している。	14%	44%	40%	3%
10	子どもはクラスの仕事を自分からすすんでしている。	30%	56%	14%	1%
	【その他健康や安全、家での生活に関すること】				
11	子どもは家庭学習をすすんでやっている。	24%	48%	25%	4%
12	子どもはきまりや約束を守っている。	36%	53%	11%	1%
13	子どもは早寝早起きをして睡眠時間をしっかりとっている。	37%	44%	17%	3%
14	子どもは毎日朝ごはんを食べている。	84%	14%	2%	1%
15	子どもは外遊びなどをして体をよく動かしている。	42%	36%	22%	2%
16	子どもは危険な場所に行っていない。	69%	29%	2%	1%
17	子どもは交通ルールを守っている。	51%	47%	3%	0%
18	学校だより・学年だより・ホームページなどで学校の様子がよくわかる。	28%	62%	11%	0%
19	子どもと学校でのできごとを話している。	34%	50%	16%	1%
20	学校がいじめのない学校づくりに取り組んでいる。	23%	68%	9%	1%



アンケートについての考察

児童のアンケートより

- ・「授業がわかる」の項目では、「そう思う」、「だいたいそう思う」と答えた児童が96%になりました。今年度より意図的に授業準備や教材研究の時間を確保し、児童に分かりやすい授業づくりを工夫した結果であると考えられます。一方で「情報活用力」には課題が見られます。GIGA 端末の活用、情報を収集し、まとめる活動といったことに力を入れていきたいと思います。
- ・「思ったことや考えたことを友だちや先生に伝えている」の項目は、昨年度に引き続き「そう思う」と答えた児童が80%を下回りました。しかし昨年度後期の71%から7%上昇しているのので、少しずつ自分の考えを相手に伝えようという姿勢が育ってきているのではないかと考えられます。これからも子どもたちの伝え合う力を伸ばす学習活動を工夫していきます。

保護者のアンケートより

- ・児童・保護者アンケートともに「すすんで読書をしている」の項目に「そう思わない」という回答が約10%になりました。すべての子どもたちが読書に親しめるように「読書週間」や「本の配達」など図書館からの取組を続けていきたいと思います。
- ・「子どもは毎日朝ごはんを食べている」の項目では「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた方が98%になりました。忙しい朝ですがしっかりと食事をとることを大切にいただきありがとうございます。
- ・GIGA 端末の活用については、児童のアンケート同様、「あまりそう思わない」回答が4割ほどとなりました。「児童生徒自身が ICT を「文房具」として自由な発想で活用できるよう環境を整え、授業をデザインすることが求められます。」と文部科学省が挙げているよう、日常的な活用を学校生活に位置付けていきたいと思います。

地域の方より

- ・子どもの認識と保護者の認識に差がある。保護者はシビア。より子どもは自分のことをポジティブにとらえている。でもそれがとてもよいと思う。
- ・子どもも大人もコミュニケーション力の低下を感じる。コロナ禍で力をつけにくかったところについて、引き続き大事にしてほしい。
- ・多様な子どもの指導をしていく必要がある中で、絶対的に教職員の数が少ないと感じる。
- ・昨年度に比べてポイントが下がっている項目については、改善につなげてほしい。
- ・子どもたちにかかわる機会について、PTA でも何かできないかと意見も出ている。学校とともにできることを考えていきたい。
くその他にもたくさんのご意見をいただきました>

今回のアンケートの結果から、「授業がわかる」「先生や友だちの話をよく聞いている」など、満足度が高い項目もあれば、「思ったことや考えたことを先生や友だちに伝えている」など、課題が残る項目もあります。アンケート結果を真摯に受け止め、学校として組織的な授業や取組の改善につなげたいと思います。

今回いただいたご意見は全教職員で共有しております。継続するところは引き継ぎ、改善すべきところは速やかに改善するなど、よりよい修学院第二教育を進めていきたいと思います。

ご協力ありがとうございました。